

この「知っちょる？統計やまぐち」では、これまでさまざまなテーマで身の回りの統計データをご紹介してきましたが、今回は皆さんに統計のことをもっとよく知っていただくため、山口県統計協会のご案内をしたいと思います。

山口県統計協会は、統計の普及や知識・技術の向上などを目的として設立されました。統計の大切さや役割を理解していただくための「親と子の統計教室」や「統計グラフコンクール」の開催、統計データの利活用を図るためのさまざまな統計図書の刊行などを行っています。

刊行物の中には、近年、全国的に注目を集めている「県民手帳」があります。赤い表紙の「平成27年山口県民手帳」を書店やコンビニで見かけた方も多いのではないでしょうか。県民手帳にはメモやスケジュール管理のページだけでなく、各種統計データや県内の観光イベント、公共施設の連絡先、そのほか生活に役立つ情報が満載されています。平成27年版の県民手帳は41の県で刊行され、全国をあわせて80万部以上が利用されています。

統計協会では県民手帳のほかにも、本県の基本的な統計資料を総合的かつ体系的に収録した「山口県統計年鑑」や、100の項目ごとに本県が全国でどのような位置にあるのかをまとめた「100の指標でみる山口県」などを刊行しています。

皆さんも、これらを活用し、暮らしの中で統計を役立ててみてはいかがでしょうか。統計データから、何か新しい発見があるかもしれません。

山口県統計協会刊行物一覧

(平成27年3月現在)

刊行物名	内 容	規格	発刊時期
山口県民手帳	日常生活に役立つ統計資料、各種名簿・生活便覧など	14cm × 8cm	毎年11月頃
県勢やまぐち	県勢の動きを示す最新の主要な統計資料	A4判 約45ページ	毎月10日頃
山口県統計年鑑	県の人口、産業、経済など、約240項目の幅広い分野にわたる基本的な統計資料	B5判 約350ページ	毎年12月頃
山口県勢要覧	県勢の各分野の統計データを表やグラフでわかりやすくまとめた資料	A5判 約150ページ	毎年3月頃
100の指標でみる山口県	人口、生活、産業などの100の項目ごとに全国における山口県の相対的な位置を表した資料	A4判 約100ページ	毎年3月頃
50の指標でみる市町のすがた	人口、生活、産業などの50の項目ごとに本県における各市町の相対的な位置を表した資料	A4判 約50ページ	毎年3月頃